

令和6年度 第4回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 渡邊 剛一、伊藤 順子、森田 智佳、兼子 賢治、甲斐加菜恵
- 4 欠席委員 太田 富次郎、平野 和江
- 5 オブザーバー 北野谷富子（地元有識者）出席
椀 通安（亀玉協働センター職員）出席
- 6 学校支援コーディネーター 町田 和代
- 7 学 校 河内 浩（校長）、村田 昌士（教頭）、阿部 泰幸（教務・CS担当）、
江間 徹（いじめ対策コーディネーター）、村瀬 美恵子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵
- 9 傍 聴 者 な し
- 10 会議録作成者 村瀬 美恵子（CSディレクター）
- 11 最初の言葉の後、日程説明が教頭からあり、続けて授業参観をした。
- 12 議長選出 議長について参加した委員から甲斐委員を推挙する旨の発言があり、
全員異議なくこれを承認した。
- 13 協 議 事 項
 - （1）自己評価の分析の報告
 - （2）令和7年度グランドデザイン・教育課程の説明と改善案の検討
 - （3）令和7年度「亀玉小学校いじめ防止基本方針」の説明と改善案の検討
 - （4）令和6年度学校運営協議会の自己評価と令和7年度の方向性の検討
- 13 会 議 記 録

議長から委員総数7人のうち5人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

◎挨拶

- 太田会長から、あらっこ発表会において各学年の発表が大変素晴らしかったこと、先生方の努力が実った姿であることについて話があった、また、今後も学校運営協議会委員ができることを学校・親・地域と協力し、知恵を出し合いながら安心・安全な学校運営につなげていきたいと思いますとの話があった。
- 河内校長からは、多くの学校行事を経験した子供たちのたくましく成長した姿が紹介された。また、避難訓練における子供と職員の学び、今後の課題についての話があった。本日は、来年度の教育構想に向けて熟議を深めたいとの要望があった。

◎第3回会議録の確認

委員全員で、第3回会議録を確認し、異議なく承認された。

◎熟 議

（1）自己評価の分析の報告

議長の指示により、教務主任が「子供・保護者後期生活ふり回りアンケート」「子供自己評価前期・後期比較」「後期7項目3者の実現度比較」に基づいた自己評価の分析について説明した。概要は以下の通り。

- ・子供・保護者共に、先生の授業の工夫、学習ボランティア・地域人材の活用について90%以上の肯定的な回答が寄せられた。
- ・子供は、「学校に行くのが楽しい」「学校の出来事を家の人に話す」の項目が増加した。また、将来の夢やこうなりたい思いをもつ子が多い。しかし、自分の考えを持って、友達と学び合うことに課題を抱えている子が目立つ。
- ・ゲームや動画視聴については、前期に引き続き、後期も課題となっている。ノーメデ

ィアデーを行っているが、子供たちの捉えが曖昧な様子が見られる。活動の目的や意図をしっかりと伝えていく必要がある。

- ・保護者の結果から、後期は家庭で学校の話題が豊富に出ている様子が見られる。今後とも子供の活躍が見える活動を計画的に紹介していきたい。

(2) 令和7年度グランドデザイン・教育課程の説明と改善案の検討

校長から、別紙資料に基づき令和7年度のグランドデザインと教育課程の概要について説明があった。来年度も学校教育目標「自ら考え みがき合う子」を継続し、主体性・協働性を大切にしながら、「誰もが安心できる温かで魅力ある学校」を目指すとのことだった。

その後、教務主任から、年間活動計画と教育活動に関する4つの変更点について説明があった。概要は以下の通り。

- ・日課を見直し、10分程度、下校を早くする。
- ・臨海学校を林間学校とする。
- ・学習発表会を参観会形式で行い、子供の活躍の場を増やす。
- ・校内持久走記録会を来年度も校内で開催する。

これらの説明について、委員から以下の発言があった。

- ・今までの取り組みを生かした分かり易さが、先生と子供が取り組みやすくなり良いと思う。
- ・今後の方向性は良いと思う。今の教育活動が子供たちの成長につながる。
- ・働き方改革を進めることはよい。
- ・今後も、子供の気持ちを大切にしてほしい。

これらの意見が出されたのち、委員全員に異議なく承認された。

(3) 令和7年度「亀玉小学校いじめ防止基本方針」の説明と改善案の検討

いじめ対策コーディネーターから、別紙資料に基づき説明があった。

＜生徒指導について（いじめ・問題行動・不登校）＞

- ・いじめの認知について、丁寧に聞き取り親に説明している。
- ・問題行動については、委員会報告や暴力は減少し、落ち着いた様子が見られる。
- ・不登校については本人の心理的なケアに組織的に対応している。

＜いじめ防止基本方針について＞

- ・来年度も、定期アンケート調査を毎月1回実施する。それ以外でも、都度認知し、対応する。
- ・大きな変更点としては、定例のいじめ対策委員会を二か月に1回から月1回に変更する。

委員からは、以下の発言があった。

- ・いじめ防止は、他人を思いやる心の育成が基盤。様々な人と接し、接し方を学んでほしい。
- ・登下校時の見守りを通して気付く子供の変化を把握したい。協力していく。
- ・子供の発達に応じた幅広い見方を、学校から家庭に教えてほしい。
- ・月1回の調査の実施により「これがいじめだ」と子供が分かるようになる。そういう環境が大切である。
- ・大人の目が、もっと学校に入ると良い。
- ・認知したものへの対応や報告は大変だが、軽い物も見逃さないようにしたい。
- ・家庭での会話があるかが大切。それによりやさしさが育つ。

以上のような意見を踏まえて全員で検討し、異議なく承認された。

(4) 令和6年度学校運営協議会の自己評価と令和7年度の方針性の検討

事前に行った学校運営協議会の自己評価についてのアンケート結果の報告があった。その後、令和7年度の方針性について検討した。委員からは以下の発言があった。

- ・最初は、「学校運営協議会が何なのか分からない」からスタートした。皆で話し合うことが知るきっかけとなり、同時に先生方の一生懸命さがよく分かった。
- ・参加することで理解が進む。保護者に知ってもらう工夫をしていくことが大切であると思う。(甲斐委員)

このような意見を受け、委員全員で検討し、異議なく承認された。

13 報 告

(1) 夢育やらまいか事業について

学習の充実、地域の課題の発見と解決の活動、ボランティアスタッフの増員に支出したとの説明が事務局よりあった。異議なく承認された。

(2) 今年度で退任される委員について

P T A正副会長は退任するため、4月以降、後任へ引き継ぐ。

14 連絡事項

(1) 令和7年度学校運営協議会について

(2) その他

学校運営協議会研修会の開催について

(3) 教育委員会より

市教育委員会 井島指導主事からの話

- ・ いじめ対応を含む、先生方の多忙感に負けぬ努力への感謝
- ・ 学校運営協議会委員の熟議に対する感謝
- ・ 協力的な地域であるため、今後も大人同士のつながりが子供同士のつなげてほしいとの要望